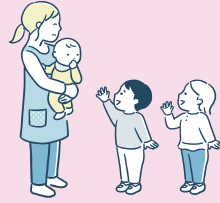


# 都民ファーストの会東京都議団の提案を反映した政策が、次々と実現！！

## 子ども・子育て政策をさらに進めます

### 第1子から保育料無償化へ



私たちはこれまで、所得や第1子の年齢を問わず「第2子以降の保育料の無償化」を進めてきました。さらに拡充を都に求め、「第1子からの無償化」を来年度中の実施に向けて後押ししています。

### 東京全域で所得制限のない 子供医療費無償化へ

私たちは、全ての子どもの健全な育ちと、子育ての経済的負担軽減を進めています。23区では医療費無償化が実現したものの、市町村では所得制限がある地域もあります。**今年10月から所得制限を撤廃するため、市町村への財政支援を増やすよう、都に対して要望を続けています。**



### 東京都認証学童クラブ

私たちが要望した都独自の基準による新たな学童クラブの認証制度が、実現に向かっていきます。夏休み中の昼食提供、きめ細かな支援に適した定員規模、子どもが活動内容を選べる豊かな放課後の過ごし方など、来年度早期からの運用開始に向けて検討が加速しています。



### 朝の学校に居場所づくり

親の出勤後、ひとりになってしまう小学生の朝の居場所づくりを、近年強く求められています。**学校開始前の時間帯に、児童が安心して過ごせるよう校庭開放**などをする区市町村を、都が後押しする制度の創設に向けて検討が始まります。

### 所得制限なし 私立中学校授業料上限10万円支援

私たちは教育費の負担軽減を進めています。今年度から都内在住で私立中学校等の生徒に年上限10万円を支援します。

## 全国初 カスタマー・ハラスメント防止条例

「東京都カスタマー・ハラスメント防止条例」が、全国で初めて成立しました。2025年4月から施行されます。

### カスハラ防止条例のポイント

- 社会全体でカスハラを防止
- 客と働く人は対等に尊重し合う立場
- カスハラ一律禁止（誰もがあらゆる場でカスハラをしてはならない）
- 事業者はカスハラを受けた就業者の安全確保に努める
- 正当な顧客の要求やクレームを、カスハラだと不当に侵害しないよう留意しなければならない
- 都は「カスタマー・ハラスメントの防止に関する指針」を定めて公表する

### カスタマーハラスメント（カスハラ）とは？

顧客等から就業者に対し、その業務に関して行われる著しい迷惑行為であって、就業環境を害するもの。具体的には、暴行や脅迫、正当な理由がない過度な要求、暴言など不当な行為など。



## 高齢者の施策を充実します

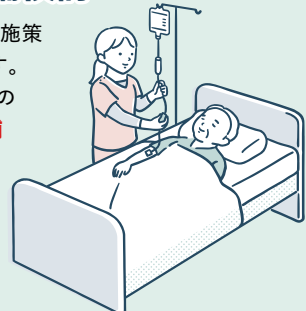
### 介護職員の給与制度改革へ

私たちはこれまで介護職員の宿舍借り上げ支援の拡充、月1~2万円の居住支援特別手当など、介護施策の充実を進めてきました。令和6年第3回定例会では、現場ニーズを踏まえた**実効性の高い人事給与制度の構築を提案**しました。都は人材育成の仕組みづくりに向けて実態を把握し、関係団体の意見を聞き、望ましい制度の在り方を検討していくと答弁しました。介護人材の確保定着をさらに進めます。



### 認知症専門病院の整備検討へ

都では今年度から「TOKYO認知症施策推進プロジェクト」を進めています。令和6年第3回定例会では、認知症の早期診断・早期対応に向け**検診の補助対象を拡大し、認知症専門病院の整備**を検討することになりました。



■都政・都議会についての  
ご意見・ご要望をお聞かせください

# 本橋ひろたか

■連絡先 〒171-0042 東京都豊島区高松3-12-16  
TEL: 03-6478-9556 FAX: 03-6755-9750  
Eメール: hirotaoka.mths@gmail.com

# 都民ファーストの会 東京都議団

東京都議会議員（豊島区選出）

# もとはし 本橋ひろたか



### PROFILE

昭和36年11月9日豊島区高松で出生。忠信幼稚園、豊島区立高松小学校、豊島区立千川中学校、立教（現：立教新座）高等学校を経て、昭和59年3月立教大学法学部法学科卒業。平成11年豊島区議会議員初当選（連続5期）。豊島区議会議長（2期）等を歴任。平成29年東京都議会議員初当選（連続2期）。東京都議会副議長、予算特別委員会委員長等を歴任。

## 都議会報告とご挨拶



▲ 都議会本会議場での  
本橋ひろたか一般質問



▲ 都議会本会議場での  
小池ゆりこ都知事答弁

令和7年の新春を迎え、決意新たに日常生活をスタートさせたことと存じますが、依然として都政課題は山積しており、かつ日々発生しているのが実情です。

私たち都民ファーストの会東京都議団は、自信と責任と見識をもって、一つ一つの課題に向き合い、解決に際しては、何よりも都民目線に立つとともに、当該課題の適格性とその解決の迅速性を重んじてまいります。それは私自身の政治姿勢でもあります。

まず、昨年の私の本会議一般質問では、「能登半島地震」や「トー横キップ」等の社会的事象を踏まえ、防災面では「台湾をはじめとする海外救助隊の支援をスムーズに受け入れる体制整備づくり」、教育面では「この不確実性の時代の教師像と教員の能力・資質の確保の重要性」等を小池都知事に質問し、答弁を求めました。

小池都知事からは上記防災面について、「海外都市（台湾・台北市）との交流において、激甚化する自然災害や気候危機などの課題が先鋭的に現れる都市こそ、その課題の解決に向けて共に取り組むことが重要。台北市の要人との意見交換や視察を通じ、防災分野で連携の強化を図る」との力強い答弁。上記教育面について、「将来を担うかけがえのない子供たちを育てていく教員の役割は重要。教員には子供との関わりの中で、成長の可能性やつまずきの在りかを見極め、デジタルや社会の力も活用しながら一人一人の力を最大限に伸ばす、理想の教育を追求」すべしとの覚悟に満ちた答弁がありました。

次に、昨年の私が所属する環境・建設委員会での主たる質疑では、環境面では、豊島区で令和5年10月から資源回収となったプラスチックに関連し、「東京都のプラスチック対策の取組の加速」について。建設面では、豊島区内でも動きのある「遮熱性舗装、保水性舗装の整備」と「都道、区道の無電柱化の促進」を取り上げました。

上記環境面について、都環境局資源循環計画担当部長より、「都は、2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロのプラスチック利用を実現するため、循環型経済への移行に向けた取組を推進していく」との前向きな答弁。上記建設面について、都建設局道路計画担当部長より、「ヒートアイランド対策の一環として、豊島区などセンター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、通常の路面補修工事に併せ、路面温度の上昇を抑制するための遮熱性舗装等の整備を推進」するとの答弁と、同無電柱化推進担当部長より、「現在、巣鴨地藏通りや豊島みどりの防災公園周辺などにおいて無電柱化事業を進めており、今年度は例えば、巣鴨地藏通りの北側の区間では詳細設計を実施中。都は、引き続き、豊島区へ財政支援、技術支援を行い、区道の無電柱化を促進していく」との答弁をそれぞれ引き出しました。

今後とも、3期目を迎えた小池都政の中、国際都市としての東京、文化創造都市の豊島と、それぞれの価値を高めつつ、独自性のある唯一無二の都市づくり、地域づくりを引き続き展開してまいります。



▲ 環境・建設委員会での質疑



## ◆ 本橋ひろたか活動報告 ◆

### 令和5年度各会計決算特別委員会での質疑

令和5年度の「各会計決算特別委員会」が9月26日に設置され、私もそのメンバーになるとともに、その中の「第三分科会」に所属しました。

この第三分科会は、都庁組織の中の、環境局、建設局、都市整備局、住宅政策本部、中央卸売市場、産業労働局、港湾局、水道局、そして労働委員会所管の会計の決算審査を担う部門です。



▲ 決算委員会での本橋の質問

私の質疑は、都政の抱える課題の量と質、そして重要性の観点から、主に「環境局」「都市整備局」「港湾局」に向けられました。

「環境局」に対しては、①「建築物環境報告書制度」いわゆる太陽光パネル設置義務化等の制度の実効性を高める為、事業者の進捗を丁寧に把握し、企業の取り組みを一層促進すると同時に、都民の認知度向上に取り組みつつ、環境性能の高い住宅のメリットを発信されたい旨、②都内の食品ロス発生量の約6割を占める「事業系の食品ロス」を削減する為、フードテックを活用した事業者との連携・取り組みをなお一層進められたい旨、③航空分野における2050年までのカーボンニュートラルの達成に向け、廃食用油を原料とするSAFを国内で製造・循環させる為、貴重な資源であることを都民に周知するとともに、事業者との連携による廃食用油回収の取り組みを進められたい旨、それぞれ訴えました。

環境局からは、①今後も太陽光発電の有効活用を促進していく旨、②食品ロス削減推進事業の取組を加速させる旨、③SAFの製造に向けた取組と成果に注力する旨、それぞれ満足できる答弁がありました。



▲ 都側答弁を静聴する本橋

「都市整備局」に対しては、私自身の多摩格差に関する問題意識から、①都の「多摩のまちづくり戦略(素案)」では、ハード・ソフト両面で地元自治体を支援して拠点整備を進めるとともに、多摩都市モノレール延伸によって一体感あるまちづくりや多摩ニュータウンの再生を先導されたい旨、②風水害の一環としての「流域対策」の目標対策量を高める為、地元自治体のニーズを把握した上で連携して取り組むとともに、「グリーンインフラ」の導入を進められたい旨、③多摩地域のホームドア整備の加速化は、官民連携の協議会を活用する等して鉄道事業者と具体的に協議して進めることは勿論、特に遅れている中央線や京王線の整備は2020年代中を目指されたい旨、それぞれ訴えました。



▲ 決算委員会での小池知事答弁

都市整備局からは、①「多摩のまちづくり戦略(素案)」の取組と企業立地を促進する旨、②流域対策の進捗状況の注視とグリーンインフラを強化・推進する旨、③ホームドアの整備を向上・加速していく旨、それぞれ建設的な答弁がありました。

「港湾局」に対しては、①東京港の脱炭素化の取り組みでは、「荷役機械のFC化プロジェクト」を通じて、水素エネルギーにより稼働する荷役機械の普及に積極的に取り組まされたい旨、②東京港と島しょ地域の無電柱化を着実に推進させ、都民の生活や産業を支えるとともに、災害に強い東京を実現されたい旨、③離島港湾におけるDXの取り組みには、BIM/CIM等のデジタル技術、先端技術を積極的に導入・利活用し、港湾施設の強靱化を進めるとともに、島しょ地域の更なる安全・安心の確保に努められたい旨、それぞれ訴えました。

港湾局からは、①東京港における荷役機械のFC化プロジェクトの取組を推進する旨、②東京港と島しょ地域の港湾施設の無電柱化の取組を加速させる旨、③離島港湾DXにおける離島港湾情報プラットフォームによる情報提供とBIM/CIMの取組を促進する旨、それぞれ前向きな答弁がありました。

その後、令和5年度各会計決算特別委員会は全体として順調に進み、11月20日に小池都知事も出席する「全局質疑」、11月26日に各会派による「意見開

陳」、12月4日に委員会にて「表決」、そして、12月18日の都議会第四回定例会本会議(最終日)において令和5年度決算は認定されました。

### 令和7年度東京都予算への団体要望ヒアリング

令和7年度の東京都予算に関して、令和6年10月18日に、都庁各局から予算要求状況が提出され、令和6年11月6日に、その内容が発表されました。

内容の詳細はともかくとして、大まかな状況としては、(1)一般会計予算の各局要求総額は、8兆8,215億円で、6年度予算と比較し、3,685億円、4.4%の増、また(2)特別会計予算の各局要求総額は、6兆3,607億円で、6年度予算と比較し、1,699億円、2.7%の増、そして(3)公営企業会計予算の各局要求総額は、1兆9,342億円で、6年度予算と比較し、196億円、1.0%の増となっています。



▲ 団体からの予算要望の開陳

この予算額には、私たち都民ファーストの会東京都議団として、令和6年の夏に実施した、「各種団体予算要望ヒアリング」の成果が盛り込まれています。

私たちは毎年夏、次年度予算編成にあたり、現場の実態に精通する団体からの意見・要望をヒアリングする場を設けており、そこで頂戴した都民の声を最大限予算に

反映するよう努めています。

しかも、要望をお聞きする団体は、まず①広く都民の生活向上に関わる事業を行う団体であること、また②関連業界の上部機関として業界の意見を代表している団体であること、そして③会員の相互連携により、その専門性を活かして都民生活と都内経済に貢献している団体であること等の諸要件を満たしていることを基本としています。

その後は、会派にて予算要望事項の取り纏め作業を精力的に行い、令和6年12月23日に小池都知事に予算要望事項を提出し、令和7年1月下旬に都側より予算大綱説明を受けるという流れとなっています。

2月から都議会第一回定例会と予算委員会が始まります。私たちはここで充実した質疑を通して予算を可決・成立させ、都民生活を守ってまいります。

### 超党派の議員連盟における各種活動

私自身、いくつかの議員連盟に所属していますが、ここ最近その活動が活発なのが、①「北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を図る東京都議会議員連盟」、②「東京都議会防衛議員連盟」です。

①では、私は同連盟の副会長に就任することとなりました。拉致問題に関しては、豊島区議会議員の時代から取り組んできましたが、小泉総理訪朝と拉致被害者5人の帰国の後の進展が全見えない状況が続いています。令和6年11月23日に、千代田区にある砂防会館で開催された「全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」にも参加し、横田めぐみさんの母早紀江さんと拉致被害者の曾我ひとみさんの切実な訴えも聞きましたが、まずはこの日来賓でお越しの石破総理の「日朝首脳会談」実現への意欲に託すとともに、私たちの不断の覚悟が問われてもいます。



▲ 「防衛議員」による陸上自衛隊富士学校訪問



▲ ご要望を静聴する本橋(写真右手前)



▲ ご要望をメモする本橋(写真左)



▲ 「拉致議員」副会長の本橋(写真中央)

②では、私は同連盟の顧問に就任しています。令和4年2月から始まったロシアとウクライナとの戦争が未だに続いています。首都キーウに向けて弾道ミサイル攻撃が行われたことは、有事において首都がミサイル攻撃の対象となることを日本国民に認識させました。国民保護法では、ミサイル攻撃などで日本本土が攻撃を受けたとき、地方自治体は、住民を避難・保護し、保護した住民たちに衣食住を提供することになっています。世界情勢が緊迫する中、ミサイルをはじめとする武力攻撃などの脅威から都民の生命と財産を守ることは都の責務であり、小池都知事自身、昨年夏のご自身の都知事選挙において「首都防衛」を掲げられました。安保3文書の安保戦略には、安全保障に関しては「政府」や「自衛隊」だけでは終わらせず、「地方自治体」も「民間」もみんな巻き込んでやらなければならないという意味での「総合力」の必要性が書かれており、有事の際は、自衛隊とともに私たち都民も頑張らなければなりません。

### 能登半島地震プロジェクトチームでの活動



▲ 都総合防災部と面談・協議(写真左)

私たち都民ファーストの会東京都議団内には数多くのプロジェクト・チーム(PT)が存在し、PT所属議員はそこで掲げた政策課題の解決に邁進しているわけですが、特に私が力を入れているのが「能登半島地震PT」での活動です。

令和6年の始まりに能登半島を襲った地震は、石川県輪島市や珠洲市をはじめ、各地に甚大な被害をもたらしました。都によれば、発災直後から、警視庁、東京消防庁等の各部隊の派遣をはじめ、都営住宅への被災者の受入れや物資の提供等を直ちに行いました。生活に欠かせない上下水道の復旧にも当初から継続して取り組むなど、様々な支援を実施したとの事です。

また今日、能登半島地震をはじめ、各地で地震が頻発し、都民の大規模災害への不安は高まるばかりです。安心して在宅避難ができる環境整備、その中の一つの防災備蓄資器材の支援、町会等との合同防災訓練の実施のためのインセンティブの導入、都民の約三分の二が暮らすマンション等の防災力の向上等々で、地域全体の防災力を強化しなくてはなりません。

さらに、「能登半島地震PT」での議論の目玉の一つが「災害ボランティアの取り組み」であり、災害NPO・NGOとの都独自のネットワークの構築が必要であると訴えるとともに、全国から集まる災害ボランティアのための、「ボランティア・キャンプ村構想」を提案しています。これらの内容の緊急要望書を小池都知事に提出しました。



▲ 小池知事に緊急要望書を提出(写真右)

### 「地域公共交通ネットワーク」に関する勉強会



▲ 公共交通の専門家の講義(写真左)

私たち都民ファーストの会東京都議団内では、常に数多くの勉強会が開催され、会派所属議員は自身の問題関心に従って参加するわけですが、特に私が力を入れているのが東京都内における「地域公共交通ネットワーク」構築に関する勉強会です。

何と言っても都内各種公共交通は、環境負荷が小さく、高齢者から子供まで誰もが安心して気軽に利用できる身近な移動手段ではありますが、昨今、高齢化が一層進行し、私の地元豊島区での「池袋交通事故」もあり、交通安全意識が高まるとともに運転免許を自主返納する方も増えてたりしています。そうした中、地域住民生活を支える公共交通は、持続可能でなければならず、常に地域公共交通ネットワークを進化・発展させて、誰もが移動しやすく、自由自在な交流が可能な都市東京の実現に取り組みなければなりません。

### 「日本漫画家協会」の陳情を受領

私たち都民ファーストの会東京都議団の控室には、常日頃から数多くの陳情者がお越しになり、会派執行部を始めとして、会派所属議員の多くが精力

的に対応するようにしています。近時、「あしたのジョー」のちばてつやさん、「名探偵コナン」の青山剛昌さん、「はじめの一步」の森川ジョージさんら、そうそうたる「日本漫画家協会」の有志の皆さんと意見交換する機会がありました。



▲ 漫画家の皆様の切実な訴えを拝聴

東京都青少年健全育成条例は、過激な性描写のある漫画等を『『不健全』図書』に指定し、18歳未満への店頭での販売を禁止していました。

問題となっていた点は、この「不健全」という言葉が持つイメージから、成人向け販売にまで影響が及ぶ事態となり、本来認められているはずの成人向けへの販売ができなくなり、ひいては漫画家の収入が絶たれているといった点であり、日本漫画家協会の有志の皆さんは、かねてより当該文言の見直しを求めていたのです。

こうした陳情を踏まえて、私たちの会派でも議論し、かつ都議会でも取り上げたところ、都は、出版社への通知、HPなどの広報物の記載について、条例の趣旨が誤解なく、より明確に伝わるよう検討すると答弁しました。そして「不健全図書」という表現は、「8条指定図書」という表現に改められたところです。



▲ 陳情の漫画家の皆様と共に(写真後列左)

まずは一段落といえますが、私たちはこれからも憲法的価値である精神的自由権(表現の自由)と経済的自由権(営業の自由)を保障すべく、日本漫画家協会の有志の皆さんと連携し、そのさらなる改善に尽力してまいります。

### 第69回伊豆大島椿まつりキャラバン隊

令和6年1月から3月にかけて開催された第69回伊豆大島椿まつり。そのキャラバン隊の表敬訪問を都民ファーストの会東京都議団控室にて受けました。

私は伊豆の島々へは「八丈島」と「神津島」しか行ったことがありませんが、何と言いましても伊豆大島は、都心から約120km、南の洋上に浮かぶ伊豆諸島最大の景観の美しい島で、島の中央には標高758mの「三原山」がそびえ立ち、現在も火山活動を続けている火山島です。都としても、島しょ経済の核をなし、海、山、温泉、そして自然と四拍子揃った魅力あふれる大島の環境保全と観光振興は極めて重要です。

1月下旬には、都立大島公園特設会場で、オープニングセレモニーが開催、賑々しく椿まつりの盛況と大島の観光発展を祈念してミス大島による鏡開きが行われたと聞いています。当時の私は、地元にて催し物が幾つもあり、大島に飛んでいくことが出来ませんでした。この度表敬訪問してくれたミス大島、ミス椿の女王、椿の女王のご活躍や、大島町長、大島町議会議長、大島観光協会会長のご挨拶の内容やご尽力の報告を受けました。

### 第35回東京都道路整備事業推進大会



▲ 来賓紹介の場面で一言ご挨拶

「第35回東京都道路整備事業推進大会」に出席してまいりました。この大会は、東京都内の区市町村が集結・連携し、地域住民の経済生活を守り、住みよい環境を整備する為、その総意をもって、国及び政府並びに東京都に対し、東京全体の道路ネットワークの早期実現等々、道路整備事業の推進を強く要望するとともに、この実現に邁進するべく開催するものです。

推進大会の来賓紹介の場面で、一言ご挨拶をさせていただきましたが、近時の東京都内の道路整備事業には目を見張るものがあるとともに、更なる道路網の構築・整備が期待されることです。都は引き続き本大会関係者の皆さんと力を合わせて、都民の命と暮らしを守る道路基盤整備の推進に全力を尽くさなければなりません。



▲ 同大会会場内全体の様子